

エコアクション21 環境経営活動レポート

対象期間：90期 2023年4月～2024年3月
発行：2024年 9月 9日

歯車研削盤 TGG-26-2W

特長



1. 高い生産性と高精度で安定した
歯面加工を実現

2. 自動車のEV化へのシフト
環境意識の高まりに応える技術

3. 内面研削盤とのジョイントによる
工程集約と無人化への対応

TOYO

トヨーエイトック株式会社

東日本営業所

1. 事業及び組織の概要

- (1) 事業所名 : トーヨーエイテック(株)東日本営業所
 (2) 代表者 : 本村 敏久
 (3) 環境管理責任者 : 鹿住 ゆう子
 担当者問合せ先 : Tel 03-5687-0231
 : Fax 03-5821-8006
 : e-mail kazumi.v@toyo-at.co.jp
 (4) 所在地 : 東京都千代田区東神田2-6-2
 (5) 組織図 : 次葉参照
 (6) 事業内容
 ①主たる事業内容
 ・工作機、半導体関連機器、工作機用数値制御装置などの販売
 ②売上高
 ・2023/04～2024/03 4,271百万円 (東日本営業所)
 ③所員数 10名
 ④延べ床面積 159m²

2. 認証登録の対象範囲

トーヨーエイテック(株) 東日本営業所
 (他組織は別途、ISO14001, EA21認証登録済み)
 ※3頁「トーヨーエイテック(株)組織図」を参照ください。

3. 実施体制



役割・責任・権限

役割・責任・権限	
	役割・責任・権限
代表者 (所長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ。 ②環境経営方針を決定し、従業員に周知する。 ③資源(人・もの・金)の用意をする。 ④EA21全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施する。 ⑤経営上の課題とチャンスの明確化。 ⑥実施体制の構築、周知。 ⑦環境管理責任者、環境委員等を任命する。
環境管理責任者	①EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築・実行し環境面の実績を向上させる。 ②上記の結果を社長に報告する。 ③EA21文書の承認をする。 ④環境管理責任者として、EMS全般の舵取りを行い、実行を推進する。
事務局	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する。 ②環境への負荷の自己チェックを実施する。 ③環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決を立案する。
営業所員	①環境経営目標、環境経営活動計画の達成と実績の把握を行う。 ②環境経営目標、環境活動経営計画の内容を把握し、実行する。 ③関連する法規制を遵守する。 ④教育・訓練を実施する。 ⑤環境情報の収集と伝達をする。 ⑥緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。

トヨタエイトック(株)組織図

()数・・・東日本営業所在籍人数
全従業員 約669名

事業部	部/事業所	課/室		
		監査室		
管理部門	経営企画部	企画	ISO14001	
		システム		
	業務部	総務・経理課		
		人事課		
工作機事業部門	工機品質保証部		ISO14001	
	工機営業サービス部	工機営業第一課		ISO14001
		東日本営業所(7名)		EA21
		中部日本営業所		EA21
		西日本営業所		EA21
		工機営業第二課		
		工機営業管理課		
		サービス課		
		東日本営業所(3名)		
		中部日本営業所		
		西日本営業所		
	工機開発設計部	機械設計課		
		電気設計課		
		商品企画・開発課		
	工機生産管理部	生産技術・管理課		
		原価管理課		
	工機製造部	機械課		ISO14001
組立課				
製品検査課				
購買部				
自動車部品事業部	自動車部品技術課	技術課	ISO14001	
		品質課		
	自動車部品製造部	オイルポンプ生産課		
		フューエルレール生産課		
表面処理事業部	企画管理課		EA21	
	東日本事業所	営業課		
		製造課		
	中部日本事業所	営業課		
		製造課		
	西日本事業所(広島)	営業課		ISO14001
	製造課	ISO14001		

4. 環境経営方針

当社は「存在感のある企業として発展しつづけることを目指す。」という経営理念のもと、これからの最重要課題の一つとして、以下の5点に注力すべく環境方針を定め、全従業員へ周知徹底し、当サイト全体で積極的に地球環境問題への対応に取り組みます。

- (1) 環境法規制などを遵守すると共に、事業活動による環境への影響を評価して、環境保全レベルの継続的な改善に努めます。
- (2) 廃棄物量の低減、エネルギー使用の抑制を推進し、環境負荷の軽減に努めます。
- (3) 事業活動に関わる一人ひとりの環境意識を高め、各業務部門ごとの自主管理による環境保全活動を推進します。
- (4) 環境保全活動をとおして、地域との共生を図ります。
- (5) 環境配慮型製品の販売を推進します。

基本方針

自然・資源・エネルギーを大切にし、
社会や地域と調和した、
クリーンな事業活動を目指します。

東日本営業所 として 方針

環境配慮型設備の普及、
促進の営業活動を推進します。

制定日 : 2009年3月24日
改訂日 : 2022年9月11日

トーヨーエイテック(株) 東日本営業所

本村 敏久

5. 中期環境経営目標と90期活動実績

様式:15-01

■目標指標:前年実績以下

- ・87期実績(2020年4月～2021年3月)
- ・88期実績(2021年4月～2022年3月)
- ・89期実績(2022年4月～2023年3月)
- ・90期実績(2023年4月～2024年3月)
- ・91期目標(2024年4月～2025年3月)

2024年9月5日

承認	作成
本村	鹿住

x	単位		87期	88期	89期	90期	91期計画
二酸化炭素排出量の削減 (電気+ガソリン)	Kg-CO2	目標	11,127	12,819	14,147	15,372	15,752
		実績	12,819	14,147	15,372	15,752	
		評価	×	×	×	×	
電気使用量の節電	k Wh	目標	10,658	9,966	11,476	11,206	11,265
		実績	9,966	11,476	11,206	11,265	
		評価	○	×	○	×	
一般廃棄物総排出量の削減 (産廃は除きます。) (溶解処分は除きます。)	Kg	目標	317	281	329	351	315
		実績	281	329	351	315	
		評価	○	×	×	○	
総排水量の削減	m ³	目標	35	35	30	37	38
		実績	35	30	37	38	
		評価	○	○	×	×	
ガソリン使用量の削減	L	目標	2,874	3,558	3,753	4,467	4,895
		実績	3,558	3,753	4,467	4,895	
		評価	×	×	×	×	
環境配慮製品の推進	台	目標	8	11	26	10	0
		実績	11	26	10	0	
		評価	○	○	×	×	
コピー用紙使用量削減	枚	目標	52,425	50,720	51,565	60,320	51,311
		実績	50,720	51,565	60,320	51,311	
		評価	○	×	×	○	

電力の二酸化炭素排出量は、東京電力令和4年度調整後排出係数0.39Kg-CO2/k Whで算出

90期の結果について

一般廃棄物総排出量とコピー用紙使用量を除き、前期実績の数値を超えており目標未達となっている。要因としては、コロナにより規制されていた各企業の生産活動が平常に戻ったことで、技術サービスが活発になったことによりガソリンの使用量の増加及び、事務所内の電気使用量・総排水量が増加したと推測する。

※92期以降の目標については91期中に策定する。

6. 環境経営活動計画、取組結果とその評価、91期への取組

環境目標	取組	結果	評価	次年度(91期)取組
CO2排出量の削減	照明の電源管理	踊場・応接・トイレ不使用時の消灯を実施	○	継続して実施
	エアコン温度管理	冷房温度28度の設定を指示	○	継続して実施
	省エネ走行、 公共機関利用	サービス社用車利用量が多くガソリン使用量増大した為、燃費評価に変更	○	継続して実施
廃棄物排出量の削減	持込廃棄物の削減	顕著な持込ゴミは無し	○	継続して実施
	梱包材料の再利用	ダンボール、緩衝材の再利用を実施	○	継続して実施
	分別徹底、リサイクル化	可燃ゴミ、不燃ゴミ、ビン・缶の分別回収を実施した	○	継続して実施
総排水量の削減	節水の啓蒙活動	『節水』表示による意識付けを実施した	○	継続取り組み
環境配慮製品の販売	商談獲得	EV、各種減速機関連の 量産加工顧客を中心に訪問を行う	○	継続取り組み
	受注		×	継続取り組み
環境意識の高揚	年1回/大掃除	年末大掃除を実施する。	○	継続して実施
	年1回/エアコンフィルター掃除	フィルター掃除を実施した。	○	継続して実施
	従業員への教育	掲示活動を実施した	○	継続して実施
コピー用紙使用量削減	両面、分割コピー機能使用	両面、分割コピー機能を使用し使用量の低減を取り組む。	○	継続取り組み。加えて、社内向け依頼書のワークフロー(デジタル)化。書類による回覧を順次廃止。

【評価区分】

○: 良い。

△: 改善の余地有。

x: 改善が必要。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、訴訟等の有無

主要な法規	確認内容	評価結果
廃棄物処理法	・資源ゴミ、可燃ゴミ、の分別を実施。 ・産業廃棄物の適正処理	・分別は確実に実施されていた。 ・産業廃棄物は適切に処分した。
家電リサイクル法	冷蔵庫・家電製品の処分計画は無し	処分対象品無し
東京都千代田区 一般廃棄物 処理、再利用に関する条例	事務所可燃・不燃ごみの分別	分別は確実に実施されていた。

環境関連法への違反はありません。

関連当局よりの違反の指摘、訴訟もありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

電気、水、ガソリン、ゴミ、コピー用紙使用量の単月と
累積推移見てPDCAを回し達成に取り組む。

当所の環境経営方針を「環境配慮型商品」によって、
当社設備が環境経営に携わっていることを前面に押し出し、
エコカー、省エネ製品、代替エネルギー製品メーカーに
当社製品の拡販を推進できた。